

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (’09レストルームドレッサー専用ネオレストRH(TCF9764Z)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため) 特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません

2. 連立トイレの配置例

正規品	(タイプ1) 1	(タイプ2) 2	正規品	(タイプ1) 1	(タイプ2) 2
(タイプ3) 3	(タイプ4) 4	(タイプ5) 5	(タイプ3) 3	(タイプ4) 4	(タイプ5) 5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)

※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転(入/切)** を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

※下図は例です>>
ランパが点滅(緑色)したら最初からやり直してください

手順 2

運転(入/切) を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、
すぐに **ビデ(入/切)** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

手順 3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転(入/切) を押したまま、**おしり(入/切)** を押す。

おしり(入/切) を押す度に標準→特1→特2…特9→標準
と設定が切り替わります。

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転(入/切) から手を離れた時点で設定したコードになる。

手順 5

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

1. **開/閉** を押してリモコン操作面を開く。

⇒操作面1面目が開きます。

リモコン操作面が閉まっている状態



2. **設定**
操作面1面目の **設定** を押す。

⇒操作面2面目に切り替わります。

操作面1面目



3. **各種設定**
操作面2面目の **各種設定** を押す。

⇒操作面3面目へ切り替わります。

操作面2面目



4. **止**
止 を10秒以上押す。

⇒操作部(液晶)の止「■」マークと右上の
「特殊設定モード」の文字が点滅します。

<部>

点滅後は **止** から指を離す。

操作面3面目



5. 「■」マークと「特殊設定モード」文字が点滅中に
セット

止 を5秒押す。

⇒5秒後「設定C00」が表示された画面に

切り替わります。

画面切り替わり後 **セット** から指を離す。



リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)

6. 「■」マークと「特殊設定モード」の文字が点滅中に

○ ○ にて特殊コード(標準C00)、特1

(C01)~特9(C09)を設定する。

⇒ ○ または ○ を押すと「設定5秒押し」の

文字が表示され、「確定5秒押し」

「設定C00」の文字が点滅します。

※リモコン側はC00(標準)~C14(特14)まで設定可能ですが本体はC00(標準)~C09(特9)までしか設定できません。



7.

確定5秒押し

○ を5秒間押す。

⇒「確定5秒押し」の文字が消え、

「設定C00」の点滅は点灯へ変わります。



8.

止 ○ を押して設定完了です。

⇒「■」が点灯し「特殊設定モード」の文字が

消えて3面目の画面へ戻ります。



戻る 終了

※右下の ○ や ○ を押しても、特殊設定モードは

終了しませんので、押さないでください。

※ ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。